

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
絵の具と水のハーモニー	絵	2	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。 ※筆や筆洗、パレットの使い方に慣れる。	☆ 知	筆の使い方や水の量を工夫しよう。	☆ 知 筆の動かし方や水の量を変えを通して、あらわれる形や色などの感じがわかってい	☆ 筆の動かし方や水の量を変えたりするなどいろいろ試しながら、あらわれる形や色などの感じがわかり、水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を積極的に工夫している。	絵の具、画用紙、水彩用具、新聞紙など
				思	絵の具遊びから、描きたいことを考えよう。	思 水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方で描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて、表したい感じを考えている。		
				学	絵の具で描くことをたのしもう。	主 水彩絵の具でいろいろな描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことをたのしもうとしている。		
ふわふわ空気のつみ木	造形遊び	2	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。	知	袋の積み方やつなぎ方を工夫しよう。	知 膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかってい	☆ 膨らませたビニル袋の感触や心地よさを積極的に味わい、友達と協力したり場所に働きかけたりする活動をたのしもうとしている。	ビニル袋、セロハンテープなど
				思	袋を積んだりつないだりして、つくりたいものを考えよう。	思 膨らませたビニル袋の形や色、感触、活動する場所の感じをもとに、自分のイメージを広げながら、造形的な活動を思いついたり、新しく変化させたりして、どのように活動するか考えている。		
				☆ 学	空気の積み木のふわふわした心地よさをたのしもう。	☆ 主 膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、友達と協力してたのしもうとしている。		
ねん土ランドへようこそ	立体	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	知	粘土でできることを生かして表し方を工夫しよう。	知 粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土でできる形などの感じがわかってい	☆ 友達と活発に関わり合い協力しながら、粘土に働きかけ、自他の感覚やイメージに関心を寄せて共有しながら、「ねん土ランド」をつくることを積極的にたのしもうとしている。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				思	つくりながら、どんなねん土ランドができるか考えよう。	思 粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、どのような「ねん土ランド」ができそうか思いついたり、表し方などを考えたりしている。		
				☆ 学	友達と協力して、つくることをたのしもう。	☆ 主 友達と協力しながら、粘土に働きかけ、自他の感覚やイメージを共有しながら、「ねん土ランド」をつくることをたのしもうとしてい		
ふくろの中には、何が…	工作	4	身近材料を使って、紙袋の中に自分だけの世界をつくる。	知	いろいろな材料の使い方を工夫しよう。	知 いろいろな材料を見たり触れたり集めたりして、それぞれの形や色の感じがわかってい	☆ 自分のイメージを豊かにもち、袋の中に表したい世界を具体的に思いつき、材料の特徴や袋の形を生かしながら表したいことを考えている。	紙袋、身近な材料、画用紙、はさみ、接着剤、カラーペン、絵の具、水彩用具など
				☆ 思	袋の中に広がる世界を考えよう。	☆ 思 自分のイメージをもち、袋の中に表したい世界を思いつき、材料や袋の形を生かしながら表すことを考えている。		
				学	いろいろな材料でつくることをたのしもう。	主 いろいろな材料で袋の中の世界をつくることをたのしもうとしている。		
ふしぎな乗りもの	絵	4	身近なものがどんな乗り物になったら面白いか考えて、絵に表す。	知	形や色などの描き方を工夫しよう。	知 どのようなものが乗り物になったらたのしいかを考えながら、身近なものの形や色の感じがわかってい	☆ 身近なものからイメージを豊かに広げ、不思議な乗り物や、思いついた不思議な乗り物が活躍する物語を発想豊かに考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、水彩用具など
				☆ 思	不思議な乗り物やお話を考えよう。	☆ 思 不思議な乗り物やお話を考えている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめざす		観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・道具
				学	不思議な乗り物を描くことをたのしもう。	主	想像を膨らませながら、不思議な乗り物を描くことをたのしもうとしている。	
にじんで広がる色の世界	絵	4	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	☆ 知	にじみのできる形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆ 知	クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかってい	☆ クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかり、形や色の組み合わせを試したり変化させたりなど工夫して自分の色の世界を表している。
				思	にじみのできた形や色からお話を考えよう。	思	にじみのできた形や色の感じから、自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。	
				学	にじみで表すことをたのしもう。	主	にじみを生かして自分の色の世界を表すことをたのしもうとしている。	
つかってたのしいカラフルねん土	工作	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。	☆ 知	たのしく使えるように、形や色の組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知	カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかってい	☆ カラフル粘土をつくることを通して、形や色の感じがわかり、粘土の扱いの経験なども生かしながら、形や色を工夫して表したいもののよさがあらわれるように効果的に表している。
				思	カラフル粘土で、使ってたのしいものを考えよう。	思	これまでの経験を生かし紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ったのしいものを感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
				学	カラフル粘土でつくことをたのしもう。	主	カラフル粘土でつくことをたのしもうとしている。	
光サンドイッチ	工作	4	色セロハンをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆ 知	光と影の形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆ 知	光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかってい	☆ 光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかり、光や影を強く意識して、材料の形や色を何度も試したり、つくり方を考えたり組み合わせたりして工夫している。
				思	光を通した材料からつくりたい飾りを考えよう。	思	光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに、表したい光の飾りを思いつき、どのように表すかについて考えている。	
				学	光を通した美しさをたのしもう。	主	光を通したときの材料や飾りの美しさをたのしもうとしている。	
あみあみ大きくせん	造形遊び	2	網を使って場所を生かした活動をする。	知	網の使い方を工夫しよう。	知	網に触れたり、場所に関わったりしながら、材料やまわりの環境の形や色の感じがわかってい	☆ 大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを豊かに広げ、場所などを生かして、活動を思いついたり、試したり、変化させたりしながら、どのように活動するか積極的に考えている。
				☆ 思	網をいろいろな場所に引っかけて、たのしい活動を考えよう。	☆ 思	大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、場所なども生かしながら、活動を思いついたり、変化させたりしながら、どのように活動するか考えている。	
				学	網を使って、友達と協力して活動しよう。	主	場所を見つけ、網を使った活動を友達と協力しながら、たのしもうとしている。	
でこぼこさん大集合	絵	4	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	☆ 知	版のつくり方や写し方を工夫しよう。	☆ 知	凹凸のあるさまざまな材料を集めたり、紙に写したりすることを通して、あられる形や色の感じがわかってい	☆ 版として使えるような凹凸のある材料を集め、紙に写すことを通して、あられる形や色の感じがよくわかり、いろいろな材料を組み合わせ
				思	「でこぼこさん」とそのお話を考えよう。	思	版をつくったり写したりしてイメージを広げ、「でこぼこさん」とそのお話を考えている。	
				学	版をつくったり、写したりすることをたのしもう。	主	いろいろな材料を組み合わせ	
集めて、ならべてマイコレクション	鑑賞	2	自然の材料を集めて空き箱に自分らしく詰めたり並べたりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知	材料の形や色の特徴を知ろう。	知	自然のものを集めて、実際に触れながら、形や色の特徴やその感じがわかってい	☆ コレクションの詰め方や並べ方、形や色などの感じをもとに、自分や友達のコレクションのよさをいろいろな視点から積極的
				☆ 思	互いのコレクションのよさを見つけよう。	☆ 思	コレクションの詰め方や並べ方、形や色などの感じをもとに、自分や友達のコレクションのよさを見つけようとしている。	

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめざす		観点別評価規準		十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・道具
				学	身近な材料を集めたり、並べたりすることをたのしもう。	主	形や色、手触りなど自分の気に入った感じの自然の材料を集めたり、箱に並べたりすることをたのしもうとしている。		
トントンくぎ打ち、コンコンビー玉	工作	4	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。 ※金づちと釘の使い方に慣れる。	知	釘の打ち方や材料のつけ方を工夫しよう。	知	金づちを使って釘を打ったり、材料をつけたりしながら、形や色の感じがわかっていいる。 釘や金づちの扱いに慣れ親しみながら、材料のつけ方を工夫してコースをつくっている。	☆ 友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに強く関心をもつとともに、つくったコースで積極的に遊ぶことをたのしもうとしている。	板材、金づち、釘、ペンチ、ラジオペンチ、釘抜き、身近な材料、ビー玉など
				思	ビー玉が転がるたのしいコースを考えよう。	思	釘打ちでできる、ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、たのしい仕組みを考えている。		
				☆学	みんなで釘を打ち、つくったコースで遊ぶう。	☆主	友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに関心をもって、つくったコースで遊ぶ		
未来にタイムスリップ	絵	4	将来自分になりたい夢を想像して絵に表す。	知	場面に合った表し方を工夫しよう。	知	夢をかなえた瞬間を思い浮かべたり、動きで表したりしながら、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかっていいる。 描画材料を使った経験などを生かしながら、夢をかなえた瞬間の場	☆ 将来の自分を豊かに想像し、夢をかなえた場面を具体的に思いつき、自分や周囲の様子などをどのように表すか積極的に考えている。	絵の具、水彩用具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙など
				☆思	夢をかなえた場面を考えよう。	☆思	将来の自分を想像し、夢をかなえた場面を思いつき、どのように描き表すかを考えている。		
				学	自分の夢を表すことをたのしもう。	主	自分の夢を絵に表すことをたのしもうとしている。		
さわってわくわく	絵	2	身近な材料の触り心地を生かして貼り、絵に表す。	知	材料の組み合わせ方を工夫しよう。	知	材料に触ったり、見たりして、材料の形や色などの感じをとらえていいる。 材料に触れながら、形を変えたり、並べたり、組み合わせ方を変え	☆ いろいろな種類の材料の触り心地のよさや違いを繰り返し味わいながらたのしもうとしている。	画用紙、色画用紙、身近な材料、接着剤、はさみなど
				思	触った感じを生かして、表したいことを見つけよう。	思	触り心地から仲間分けをしたり並べたりしながら、表したいことを見つけ、どのように貼るかを考えている。		
				☆学	材料の触り心地のよさや違いをたのしもう。	☆主	材料の触り心地のよさや違いをたのしもうとしている。		
生まれかわったなかまたち	立体	4	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。	☆知	材料の形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆知	材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかっていいる。 材料の変化を試しながら、表したいことに合わせて、形や色の組み合わせ方などの工夫をしている。	☆ 材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかり、形の変化を比べたりいろいろ試したりしながら、表したいことに合わせて、効果的に形や色の組み合わせ方などを工夫している。	着られなくなったものの、接着剤、モール、ひも類、輪ゴム、新聞紙、ボタン、リボン、毛糸など
				思	材料からつくりたいなかまを考えよう。	思	靴下や手袋に新聞紙などを詰めたり、ひもなどで結んだりした形や色などの感じをもとに、イメージを広げてつくりたいものを想像し、材料を生かして表したいなかまを考えている。		
				学	材料を変身させることをたのしもう。	主	靴下や手袋などの材料の形を変えていくことをたのしもうとしている。		
のこぎりひいてザク、ザク、ザク	工作	4	角材をたくさんのかぎりで切り、木片を組み合わせでつくりたいものをつくる。 ※のかぎりの使い方に慣れる。	☆知	のかぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫しよう。	☆知	のかぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっていいる。 のかぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのかぎりを使うと	☆ のこぎりで角材を切ることから、いろいろな角材の形の感じがわかり、のかぎりの扱いに慣れ親しむとともに、どのようにのかぎりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を繰り返し試しながら、表し方を工夫している。	角材、のかぎり、紙やすり、接着剤など
				思	木切れから、つくりたいものを考えよう。	思	切ってできた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせで表すか考えている。		
				学	のかぎりで木を切ることをたのしもう。	主	木の感触に親しみながら、のかぎりを使って角材を切ることをたのしもうとしている。		
線と線が集まって (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫して絵に表す。	☆知	線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫しよう。	☆知	たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら、形や色などの感じがわかっていいる。 自分が感じた形や色の面白さなどから、線の組み合わせや色の塗り	☆ たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら形や色などの感じがわかり、描画材料や用具などを効果的に使い、自分が感じた形や色の面白さなどをもとに、線の組み合わせや色の塗り方を積極的に工夫している。	色鉛筆、カラーペン、画用紙、上質紙、定規、コンパス、厚紙、はさみなど
				思	線がつくる形から、描きたいことを考えよう。	思	線がつくる形や色などの感じから、自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、形の組み合わせや色の塗り方などを考えている。		
				学	線から生まれる形をたのしもう。	主	線の組み合わせで生まれる形を表すことをたのしもうとしている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	学習のめあて	観点別評価規準
へん身だんボール	工作	2	段ボール箱を切ったり、穴を開けたり、つなげたりして変身できるものをつくって遊ぶ。 ※段ボールカッターに慣れる。	知	段ボールの形や穴の開け方、つなげ方を工夫しよう。	知	段ボールに触れながら、形などの感じや加工の方法についてわかっている。	☆ 段ボール箱でつくった変身するものを身につけて積極的にたのしもうとしている。
				思	段ボールでどんな変身をしたいか考えよう。	思	段ボールの形の感じや特徴からイメージを広げ、思いついた自分が変身したいものをどのように表すかを考えている。	
				☆ 学	つくった変身段ボールを身につけてたのしもう。	☆ 主	段ボール箱でつくった変身するものを身につけてたのしもうとしている。	
みんなでオン・ステージ！	工作	4	空き箱と輪ゴムなどを使って弦楽器をつくり、みんなで演奏してたのしむ。	知	楽器の形や色、つくり方を工夫しよう。	知	空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。 箱や角材などいろいろな材料や用具を使い、自分の表したい弦楽器に合わせて形や色、つくり方を工夫している。	☆ さまざまな弦楽器に関心をもち、思いついた弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することを積極的にたのしもうとしている。
				思	どんな弦楽器にするか、考えよう。	思	輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、空き箱や容器の特徴から発想して、つくりたい弦楽器のイメージを広げ、どのように表すかを考えている。	
				☆ 学	友達と一緒につくったり、演奏したりすることをたのしもう。	☆ 主	弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することをたのしもうとしている。	